

令和5年度「萌丘東幼稚園」ご利用案内

1) 基本情報

事業母体	学校法人 萌丘学園
事業内容	私立幼稚園
法人別事業	放課後児童クラブ（学童保育） 認定こども園
所在地	栃木県真岡市東郷 395-1
電話番号	0285-84-6722 FAX 0285-84-8520
休園日	土曜、日曜、祝祭日、春休み、夏休み、冬休み、代休（運動会等）
学期構成	1 学期（4/1~8/31） 2 学期（9/1~12/31） 3 学期（1/1~3/31）

園名と園章

萌丘という名称は、豊かな丘に自然の恵みを受けて木の芽が萌え出でるように、こども達がすくすくと育つことと、愛する郷土真岡市と共に力強く成長していくことを願って萌丘（もおか）と名づけました。尚、園章は木の芽を表しています。両側の父母のもとにこどもがより立派に成長していくことを意図して図案化しました。

萌丘の歴史

昭和 53 年の萌丘幼稚園に始まり、昭和 58 年に萌丘東幼稚園ができました。平成 13 年に区画整理の関係で、現在の東光寺からこの場所に移転し、平成 15 年には保育園を同一敷地に建て、幼稚園と保育園が一緒になった施設を県内でいち早く取り組みました。平成 29 年に老人ホーム、令和 2 年にショートステイを手掛け、お年寄りとの交流もするなど、幼児教育だけでなく、地域の福祉に貢献するために日々活動しています。

教育目標

- 自然性あふれる子（どの子にも何か良さがある・・・木の芽のようにのぼす）
- 豊かな心を持った子（やさしさがある・・・ありがとうの心が育つ）
- 最後まで頑張る子（つよさがある・・・くじけずがんばる体が育まれる）

通称「ひがしえん」

幼稚園と保育園があり、大人の都合で分かれているのは事実ですが、こどもも保育者も多くのことを一緒にやっており、今後も一緒にやっていく考えです。言葉を分けると気持ちまで分かれてしまう気がしますので、分けて表現せずにあえて「ひがしえん」と呼称させて頂いています。

2) 入園条件

幼稚園利用（1号認定）

- ※ 満3歳児以上～小学校就学までのお子さんが利用できます。
- ※ 満3歳児は誕生日の翌日以降に入園できます。
- ※ 保護者の就労など、保育を必要とする事由に関係なく入園できます。

- ※ 教育理念や内容は幼稚園と保育園は同じで、利用時間のみが違います。
- ※ 園で申し込みを受け付けますのでご連絡ください。
- ※ 申し込みは定員でない限り随時受け付けています。
- ※ 延長保育を利用する方は、保育に欠ける事由による補助も出るため、新2号認定と言う名称で呼ばれる場合もあります。

3) 保育時間

保護者の就労など、保育を必要とする事由に関係なく、お子さんの年齢が満3歳以上であれば利用できます。但し、預かり保育については保育を必要とする事由がある場合のみが利用可能です。そのため、仕事がお休みの日など、ご家庭で見られる日は預かり保育を登録しているお子さんも利用できません。

また、園では開園時間全体のうち、幼稚園の教育的な要素が主の時間を「通常保育」の時間。保護者の就労支援などの養護が主の時間を「預かり保育」の時間で区切っています。教育的時間はカリキュラムなど、こどもの成長段階を把握して集団生活の中で適切な支援をするのが主となり、養護的時間は生活習慣や躾の部分を支援しつつ、基本にご家庭で過ごすように一人ひとりがのびのびと遊んで過ごすことを主としています。

こども達にとって園での生活は大人が思っている以上に長い時間であり、メリハリをつけることが大切なためこのようにさせていただいています。

開園時間 7:30～17:00

通常保育時間 8:00～14:00

預かり保育（早朝保育） 7:30～8:00

預かり保育（延長保育） 14:00～17:00

預かり保育（長期保育） 8:00～17:00（夏休み期間などの長期休業中にお預かりする保育です）

※ 預かり保育には別途費用が掛かります。

※ 入園した月については、園生活に慣れる期間（ならし保育）を必要とするため、この限りではありません。

		7:30	8:00	14:00	17:00
開園時間		○	○	○	○
保育時間			○	○	
預かり保育	早朝保育	○			
	延長保育				○
	長期保育		○	○	○

4) クラス構成

年長 5歳児 つき組

年中 4歳児 さくら組

年少 3歳児 ひまわり組

満3歳児 ちゅうりっぷ組

※ 満3歳児は年少児クラスと合同での保育になります。

5) 園生活に必要な物

【全園児】園児1人につき年度初めに提出（園全体で使うものなので名前の記入いりません）

ビニール袋1束（100枚入りのレジ袋Mサイズ）、ティッシュボックス1箱、雑巾2枚、せっけん1個

【3歳児・満3歳児 ひまわり組・ちゅうりっぷ組】

※ 常時園に置くもの

➤ 着替え（2組）、上履き（6～9月は使用しない）

※ 毎日持参し、持ち帰るもの

➤ おはし・スプーン・フォーク（ケースにいれて）、ナプキン（食器の下に敷く）、食事用エプロン(図④)、水筒（水・お茶等）、ハンカチ・ポケットティッシュ、出席ノート・連絡ノート、通園カバン

※ 週末ごとに持ち帰るもの

➤ ◎歯ブラシ◎コップ◎カラー帽子◎上履き

【4・5歳児 さくら組・つき組】

※ 常時園に置くもの

➤ 上履き（5～10月は使用しない）

※ 毎日持参し、持ち帰るもの

➤ おはし・スプーン・フォーク（ケースにいれて）、ナプキン(食器の下に敷く)、水筒（水・お茶等）、ハンカチ・ポケットティッシュ、出席ノート・連絡ノート、通園カバン

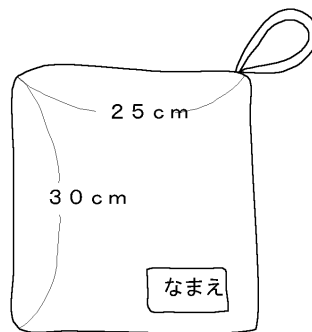
※ 週末ごとに持ち帰るもの

➤ ◎体操着◎歯ブラシ◎コップ◎カラー帽子◎上履き

【参考】

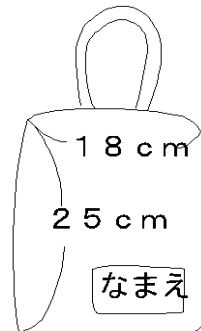
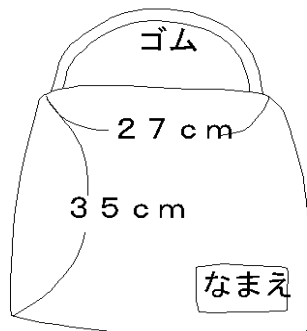
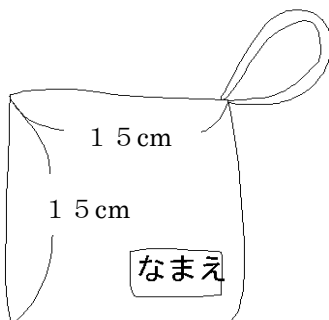
・全園児（手さげバック）図①

・満3～3歳（着替え入れ）図②



・全園児（巾着袋）

・満3～3歳（食事用エプロン）・3～5歳（上履き入れ）



歯ブラシ・コップ

【注意事項】※全園児共通

- ※ 持ち物には必ず大きく名前を書いてください。
- ※ できるだけ手作りのしっかりしたものをご用意して下さい。
- ※ ◎印は、週末に持ち帰りきれいにして週初めに持ってきます。

6) 園を利用する際の諸注意・確認事項

【保護者と園の関係性】

- ※ 園とは親が親の責任として、こどもの最善の利益の為に責任を果たせるように支援する教育・福祉施設です。第一義的な責任は親にあると明確に表現されており、一番身近な専門家として、保護者からの相談や園からの提案など、コミュニケーションをとりながら、親の子育てを一步下がって支援していくこととなります。

【こどもの病気・怪我】

- ※ こどもが病気の恐れがある時は、できるだけ無理をせず休ませてください。
- ※ 登園後具合が悪くなった場合は、原則体温 **37.5℃** を超えた時点で保護者にご連絡します。その際は、できるだけ早くお迎えにきていただけるようお願いいたします。その他、下痢や嘔吐などの体調不良も同様です。
- ※ 園内で甚大な怪我などが発生した場合は、すぐに保護者に連絡すると共に、病院に行くなどの措置を取ります。(独立行政法人スポーツ振興センターの保険に加入済み)
- ※ 以下の病気にかかった場合は、他児への感染防止のため、医師の登園許可を得てから再登園するようにしてください。

- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> インフルエンザ | <input type="checkbox"/> 溶連菌感染症 | <input type="checkbox"/> 腸管出血性大腸菌感染症 | |
| <input type="checkbox"/> 麻疹 | <input type="checkbox"/> 手足口病 | <input type="checkbox"/> 流行性角結膜炎 | |
| <input type="checkbox"/> 風疹 | <input type="checkbox"/> ヘルパンギーナ | <input type="checkbox"/> 急性出血性結膜炎 | |
| <input type="checkbox"/> 流行性耳下腺炎 | <input type="checkbox"/> 流行性嘔吐下痢症 | <input type="checkbox"/> 水痘 | <input type="checkbox"/> マイコプラズマ肺炎 |
| <input type="checkbox"/> 咽頭結膜熱 | <input type="checkbox"/> 伝染性紅斑 | <input type="checkbox"/> 百日咳 | <input type="checkbox"/> ウイルス性肺炎 |
| <input type="checkbox"/> 結核 | <input type="checkbox"/> 突発性発疹症 | <input type="checkbox"/> とびひ | <input type="checkbox"/> 水いぼ |
| <input type="checkbox"/> その他医師が認めた病気 | | | |

- ※ 熱性痙攣（ひきつけ）が起きた場合の基本対応は、速やかに連絡し、安静にした上で、5分以内に収まった場合は、そのままお迎えを待ち、5分以上痙攣が続く場合は、救急車を要請します。先にご家庭でなった場合の受け入れ方については、薬剤や連絡の取り方など、面談等で話し合った上で個別対応を決定します。
- ※ お薬を飲ませる必要がある場合は1回分の薬と、**薬そのものに名前を記入して職員に手渡ししてください。**

【アレルギー対応】

- ※ 動物や食事などのアレルギー対応として、非接触や除去食・代替食などの対応をしています。
- ※ 毎年度の定期更新と随時受付で対応しており、アレルギーの種類や園での対応希望などを書面で取り交わし、お互いの納得のいく対応を決めています。合わせて医師の証明書を提出してもらっています。

【登園】

- ※ 8:45 までには登園するようお願いいたします。9:00 からは保育活動が始まりますので、こども達のため早めの登園を心がけて下さい。また、**保護者は保育者に必ず手渡ししてください。**
- ※ 欠席・遅刻は 9:00 までに連絡し、早退も連絡ください。バス利用者は出発前の 8:00 までに連絡ください。
- ※ 朝食は必ず済ませてから登園ください。
- ※ 駐車場は指定の場所（園東側・園北側）を利用し、エンジンを止めて駐車ください。玄関前やバスロータリーの駐車は安全性のため禁止です。

- ※ チャイルドシート・ジュニアシートの着用は厳守してください。
- ※ 携帯電話の使用は控えてください。(特にお迎えの際はご注意ください)

【送迎バス】

- ※ 市内のみの送迎となります。但し、距離などで希望に添えないことがあるため、必ず園に確認ください。
- ※ 新年度については、バスコース 1 回あたり 30 分を超えない程度でコースを組むため、希望者が出揃いましたらコースを確定させ、皆さんにお知らせいたします。

【降園】

- ※ 降園は 14:00 からです。原則お迎えは保護者か親族の方に限り、代理の時は園に必ずご相談下さい。事件事故防止のため、確認が取れない場合はお子さんをお渡しできない場合もあります。
- ※ 14:00 前にお迎えに来る場合も事前にご連絡ください。

【早朝保育・延長保育の申し込み】

- ※ 早朝保育は事前の連絡。延長保育は必要と確定した時点でご連絡ください。

【保育時間以外の施設利用】

- ※ お迎え後や休日など、基本的に園庭・遊具は使用禁止です。
- ※ 打ち合わせや懇親の場として園の施設を利用可能です。事前にお声掛けください。

【こどもの服装】

- ※ こどもがのびのびと活動できるように、できるだけ汚れてもよい服装で登園させてください。
- ※ 満 3~3 歳児がスモック、4~5 歳児は制服で登園してください。
- ※ 履物は運動しやすい靴で登園させてください。サンダルや朝が悪天候時にも長靴はご遠慮ください。
- ※ 健康を考え、園では靴下の使用を控えるようにしています。
- ※ ジーンズやボタンのある服など、こどもが自分で着脱しにくい服は依存の原因にもなりますので、ひとりでは着脱できるようになるまでは避けるようお願いいたします。
- ※ 事故防止のためにヒラヒラした服（フリルやスカート類など）は園では使用しませんのでご遠慮ください。

【絵本の貸し出し・購入】

- ※ 毎週金曜日にお気に入りの絵本を持って帰ります。返却は翌週の月曜日です。
- ※ 絵本を通じてお子さんとのふれあいを深めていただきたく、月間絵本（年齢に応じた選定）の毎月購入をお願いしています。
- ※ 個人的に購入したい絵本や書籍などが見つからない、売っている場所が分からないという場合には園で代理購入してお渡しできますのでお声掛けください。
- ※ 絵本を破損した場合は、修繕せずに園にご連絡ください。
- ※ 年長児の卒園記念制作の手づくり絵本をはじめ、絵本を保育の柱にしていますので意識的に生活に取り入れていくようお願いいたします。

【担任・その他職員との連絡】

- ※ こども一人につき 1 冊連絡帳（青ノート）を準備し、連絡をおこないます。
- ※ その他、お問い合わせ等ありましたら、いつでもお声掛けください。

【育児・その他の相談・意見・要望・苦情の受付】

- ※ 育児・その他のご相談・ご意見・要望・苦情などがある場合には、遠慮なくお伝えください。電話、連絡帳、書面、口頭など、随時受け付けております。秘密は厳守いたします。

7) 費用（保育料・諸経費）

費用には保育料と諸経費があり、保育料は無償化になりますが、諸経費は相当額を園に支払っていただくこととなります。下図の項目 1 番目が保育料。2 番目と 3 番目の項目が諸経費に該当します。

無償化の対象

保育料	全学年 26,000 円/月 (無償化の為、保護者への費用請求はありません)
-----	---

一部補助の対象

給食費	延長保育利用なし 72,000 円/年 (月々 6,000 円を集合します) 年間 200~210 食 延長保育利用あり 90,000 円/年 (月々 7,500 円を集合します) 年間 250~260 食 月額 4,500 円の補助制度あり。対象者は家庭状況等により市が決定します。
延長保育	通常時 1,000 円/日 長期休業中 (夏休み等) 1,500 円/日 早朝 (7:30~8:00 利用時) 500 円/日 450 円/日の補助制度あり。事前に市の認定を受けている場合に限りです。

保護者負担分

<ol style="list-style-type: none">1. 入園料 30,000 円/一日入園時 安全会費 440 円/年、分担金 1,070 円/年、暖房費 3,000 円/年、防災備蓄代 800 円/年など、入園準備に係る費用やスポーツ保険等の費用にさせていただきます。入退園の時期で差は出てしまいますが、一律でこの料金にさせていただきますのでご了承ください。2. 入園受付料 3,000 円/入園願書提出時3. 交通安全費 (バス代) 利用者のみ 往復 3,000 円/月、片道 2,200 円/月4. 絵本代 満 3~5 歳児 400~500 円程度/月5. 保護者会費 満 3~5 歳児 550 円/月6. 後援会費 4~5 歳児 100 円/月7. アルバム・写真代 学年に応じて 1,000 円~2,000 円/学期程度になります。8. 年長児集合 5 歳児 2,700 円/月 (スイミングやお泊り保育、卒園記念などの費用となります)9. 制服やスモック、体操着などの費用が掛かり、満 3~3 歳児で 25,000~35,000 円、4~5 歳児で 35,000~45,000 円かかります。購入する枚数によって多少前後します。サイズや破損などの問題がなければ、再購入の必要はありません。卒園児のご家族から譲り受けた制服などを利用することも可能です。10. 教材費 5,000 円~8,000 円/年 (クレヨンやのり等の費用で、入園した年齢によります)11. その他、観光バスを利用した遠足やプロによる観劇会などをする場合には実費相当を頂きます。

集金方法

毎月 10 日に栃木銀行から引き落としになります。また、直接集金のときもありますが、そのときは必ず期日までに職員に手渡して下さい。引き落としができなかった場合には、各自で銀行振込をしていただきます。

8) 食事

食が子ども達の成長に大きな影響を与えることを考え、園の農園で作られた有機質作物を食材につかい、煮物やあえ物など、和食のよさを中心に、栄養士が献立して保育の重要な柱にしています。

- ※ 園の農園でつくられたお米や野菜を主に、冷凍食品ではなく、素材から手づくりすることを心がけています。
- ※ 食育や農園に興味のある栄養士を雇い、一人の保育者として、子ども達と一緒にご飯を食べたり、一緒に畑に収穫に行ったりし、身近な距離感で調理と食育をするよう心がけています。
- ※ 調味料にはミネラルや栄養価の高いてんさい糖や黒糖、天然製法の塩などを取り入れています。
- ※ 栄養バランスを考え、牛乳の他に豆乳も提供しています。

- ※ 咀嚼を促すために、ヒジキや昆布、するめや小魚などを提供しています。
- ※ アレルギーや離乳食に対しては、連携をはかって対応しています。
- ※ おやつは週に3日は手づくりおやつを提供するよう心がけています。
- ※ 昼食のサンプルや食材を必要に応じて玄関にディスプレイします。
- ※ 日々の献立は、園だよりと一緒に配布します。
- ※ 家庭の手づくりお弁当の日があります。

9) 年間行事・保育活動

行事は子ども達の日常における良い刺激となるように実施しています。保護者の皆さんに負担がかかり過ぎないことへも配慮します。子ども達のみのも行事も多く、行事を日常の延長と捉えて企画しています。

月	行事・保育活動
4月	◎入園式 ◎保護者会総会 歓迎会 お花見会
5月	こどもの日 ◎ありがとうの日(母) ◎親子オリエンテーリング
6月	田植え ◎ありがとうの日(父)
7月	七夕祭り お泊り保育 スイカ割り ◎じゃがいも掘り
8月	◎夏祭り プール 異年齢交流(サマータイム) ◎奉仕作業
9月	◎祖父母参観 十五夜 芳賀教育美術展
10月	◎運動会 秋の遠足(3園合同)
11月	◎収穫祭 稲刈り 根本山ハイキング 観劇会 消防署来園 下野美術展
12月	異年齢交流 ◎発表会 餅つき クリスマス会
1月	正月遊び 七草摘み なわとび大会 カルタ取り大会
2月	節分 ◎マラソン大会(創立記念日)
3月	ひな祭り ◎卒園式 6年目の集い(卒園児)
年長児	日光ハイキング5月 お泊り保育7月 警察・消防署見学11月 お茶会2月
毎月	誕生会 避難訓練 スイミング5歳児 英語教室4~5歳児 体操教室4~5歳児

◎印は保護者が参加可能です。内科・歯科健診、尿検査が、視力検査が年1回あります。

その他、たけのこ堀りやキノコづくり、サクランゴ摘みなど、園内でできる自然体験を季節ごとに行っています。

10) 保育(幼稚園・保育園で共通した理念)

※ 保育で大切にしていること

全体を通して大切にしている事は、自然の中でできるだけ過ごそうということ。もう一つが、自分でやってみようとする主体性を育むための「自立」と「遊び」です。その中で、心と体の記憶に残る体験を沢山して、小学生になって欲しいと思っています。そのために必要な保育を保育者一人ひとりが考えて、実践しています。その中でも、次の3つの保育とそのバランスを大切にしているため、簡単にご説明します。

1. 自己愛を育む保育(自由保育)

「自立」や「遊び」を通して、愛されている実感、認めてもらえる体験を沢山することと言えます。そのことで、他者への愛着や信頼する力、自己肯定感など、今後の育ちの基礎になる力を獲得していきます。入園

当初には特に大切となり、じっくりと密な時間を十分に味わってから、様々な活動につなげていきます。家庭の育児機能を丁寧に園内で再現するようなイメージです。

人が生きていくための基礎的な力であり、その子にとって車のアクセルのような力になります。

2. 調和を学ぶ保育（一斉保育）

自己愛を育む保育で築かれた信頼関係や愛着関係を土台に、社交性を育てていくことと言えます。こども同士で過ごす中で、保育者は友達がどう感じているのかを代弁するなどして、目に見えないものを橋渡し、相手の気持ちに目を向け、自分以外のことも考えるモデルになっていきます。そのことで、「心」を学んでいき、一人で積み木を遊ぶ幼い時期から、友達と協力して何かをつくると言った学童期に向けた成長が見られるようになっていきます。

これは車のブレーキやハンドルのような力で、アクセルを適切に活かす力になっていきます。

3. 繋がる保育

全ての保育が他の保育の土台となるように入園から卒園まで繋げていく保育です。

例えば、東園は運動会で年長児が鼓笛隊を行います。運動会直前でいきなり練習が始まるわけではありません。年少・年中の頃から手作り楽器で演奏して遊んでいたりと、人前で披露して遊んでいたりと、その前段階としての保育がいくつもあり、運動会まで繋いでいきます。それを鼓笛の練習を小さいころから積み重ねるというやり方ではなく、その年齢ごとの楽しい「遊び」という形にしていくことがポイントになります。丁寧さや計画性、こどもに寄り添った視線が大切になります。

※ 具体的な保育例

1. 発表会

発表会は異年齢として年少・年中・年長児が入り混じっての活動をしています。大きい子が小さい子の世話をしたり、小さい子は大きい子の話を聞いたりとする中で、調和する力を育てていきます。発表会の演目はこども達と一緒に考えますが、保育者が演目を決めて、セリフを決めるようなことはありません。保育者として方向性を整えはしますが、こども達がお話を作っていくのを支援するのが東園の保育者の姿です。そのことで、みんなと一緒にやりますが、自分らしさを盛り込むゆとりをもつことができるようにしています。また、発表会への繋がりに、春先におままごとで言葉のやり取りを楽しんだり、秋口に動物ごっこで動物になりきって表現したり、冬にはペープサートでお話づくりをしたりと、段階を踏みながら発表会を迎えるようにしています。そのことで、その子らしくもありつつ、みんなと一緒にだから楽しいと感じられる発表会になります。

2. ワゴン

色紙や空き箱などの材料が置いてある可動式の棚のようなものをワゴンと呼んでいます。工作用の道具が沢山置いてあるものをイメージしてもらってもいいかもしれません。こどもが自由に手に取り、好きなものをつくって遊んでいます。自由に使えますが、置いてある材料は保育者が選別しており、1学期に置いてあった材料が3学期も一緒であるということはありません。こども達の興味が今どこに向いているのか、指先がどこまで使えるようになっているのか、これから先どんな保育が生まれるかなど、先を見越して準備しています。

また、その様子に保育者は適度な距離感をもって見守るよう心がけ、失敗や工夫を何度も繰り返し、試行錯誤する楽しさや自分でできた喜びなどが体験できるゆとりをつくっています。そんなときのこども達の瞳は

本当に輝いているものです。子ども達は自分が満足するまで自由に遊びながらも、保育者は最後まで見守ることを大切にしている東園の保育の特色の1つです。

3. 園庭・農園

もともとこの地は周りと同じように農地でしたが、子ども達に自然を少しでも身近に感じてもらい、自然と共に育ってほしいと願い、植林や築山をつくってきました。そのおかげもあって、市内でこれほど視界も開け、広々とした平地で木々や山もあるような園庭はないと言えるほどになってきました。春先から夏にかけては裸足保育を取り入れ、元気いっぱい走り回っている子ども達の姿が見られます。

また、サッカーコートくらいの広さの農園があり、有機野菜とコシヒカリを作っています。日々の給食で使うと共に、散歩で収穫に出かけたり土いじりをしたりと、体験型の食育に活用しています。素人同然で始まった農園ですが、地域の農家さんの協力のおかげで立派な農園となってきました。

東園の自然の物を沢山取り入れていく保育の一例です。

1 1) その他

- ※ 毎月のおたよりは、家庭で目の届くところに貼り、毎日確認してください。
- ※ 住所、勤務先、緊急連絡先、保険証（国民健康保険のみ）が変わったときは、園にご報告ください。
- ※ 忌引き、出席停止の扱いの欠席は出席扱いになります。
- ※ アルミ缶のリサイクルを行っており、絵本の代金などにさせていただきます。園北側駐車場のホール付近に置場があります。直射日光の影響で袋が破けやすいため、よく縛るなどご協力をお願いします。

【手作りアルバム】

- ※ 手作りのカットやコメントなど、その子だけのアルバムを作っており、同じものが一つもない手作りアルバムです。毎学期ごとにお渡しして、卒園までに少しずつ厚みが増していきます。
- ※ 卒園後、一生の宝物にさせていただく願いを込めてつくっております。

【ひがしっ子】

- ※ 毎月発行している写真を主にした園だよりです。手作りアルバムは個人にフォーカスした物であり、ひがしっ子は全員にフォーカスしたものです。必ずしも自分のお子さんが映っているわけではないかと思いますが、「うち子も同じように生活しているんだろうな」とイメージできることを願って作成しています。

【囑託医】

- ※ 柴小児科（真岡市台町 4192 TEL0285-82-2764 内科検診や専門的アドバイスなどのご協力）
- ※ 鈴木歯科医院（真岡市亀山 641-1 TEL0285-83-1319 歯科健診や専門的アドバイスなどのご協力）
- ※ やまぐち薬局（芳賀町西水沼 336-5 TEL0286-78-0373 尿検査や水質検査のご協力）

【保護者会】

- ※ 保護者の皆さんの交流等を目的に保護者会が組織されており、例年4月末頃に保護者会総会が開かれます。
- ※ 保護者会活動の例として、収穫祭の実施、奉仕作業、行事の際のお手伝いなどがあります。
- ※ 会費支出の基本方針は全園児に恩恵があるものとして、年内還元を基本にしつつ、時には遊具設置の費用の一部を支出するなどしています。

【後援会】

- ※ 6年目の集いを実施するために組織されています。
- ※ 卒園後6年経ち、中学校に上がる前の時期に、園で当時の友達や担任と再会し、懐かしいスライドや会話を楽しむための集まりを6年目の集いとして実施しています。
- ※ 会長等の役員は保護者会と兼任していただいております、保護者会総会の時に合わせて実施報告しています。

12) さいごに

園を表す表現として、私がとても好きな一節があります。

「野生でない 自然がある」

「温室でない 培養がある」

「放任でない 自由がある」

「抑圧でない 管理がある」

「強要でない 期待がある」

これは「大人の願い」によって園というものが生まれたが、「大人の都合」だけで子どもを育ててはならないという教訓であり、園運営や職員教育において大切な見方にしています。

合わせて、東園として私が付け加えているのは、

「人は環境が育てるが、人が一番の環境である」

「育てるのではなく、育ちたがっている子どもの気持ちをくみ取っていく」

「子どもは思ったように育たないが、どうなって欲しいかと願いをもつ」

「子どもをサービスの受け手にしてはならなく、社会の一員としてみる」

「物理的に制限せざるを得ないことはあっても、心を縛ってはならない」

「ただ見守るのではなく、働きかけをした上で見守る」

「危険なことはごまかすのではなく、明確に叱る」

「園には預けるものではなく、通うもの」

このような「大人の思い」と「子どもの思い」のバランスを失わないように、

「子どもはどう思っている？」「分からなければ聞いてみよう」「言えないなら観察してみよう」

「先生としてどうしたいのか」「どうなったらよいと思うのか」「そのために何ができるのか」

このような言葉を常に心に問いかけながら保育してもらおうようにしています。そのことで、子どもにとって学びがあり、職員の視点が養われ、保護者にはこの園を選んでよかったと思ってもらえると思っています。

お子さんの人生にとっては、わずか数年ではありますが、他のどんな数年より大切な時期になるように職員一同励んでいきますので、どうぞご安心してお預けください。